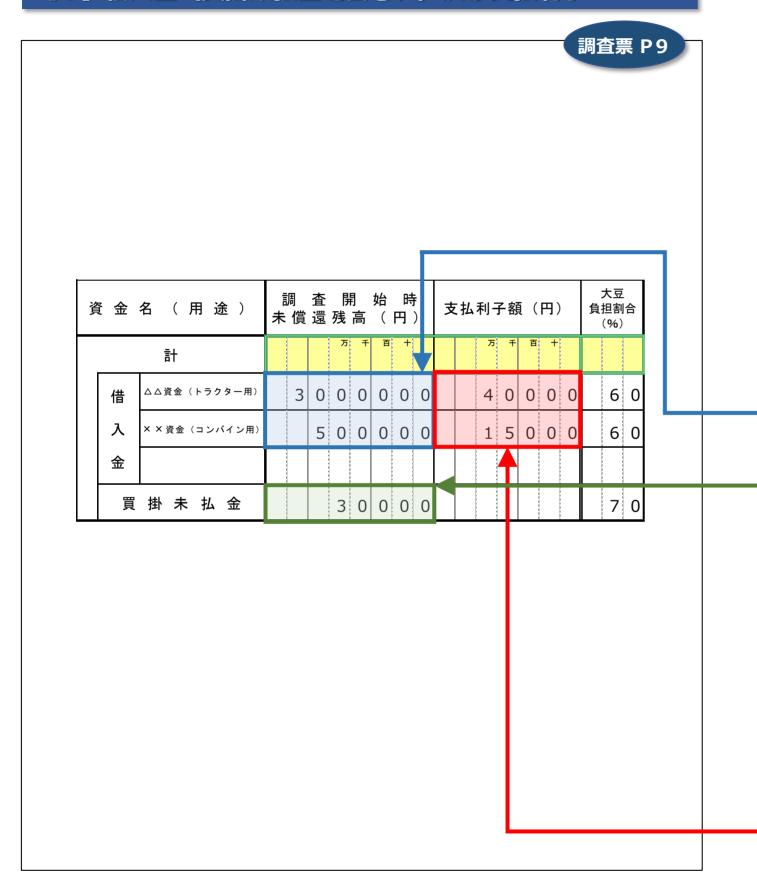
調査票 9ページ

【6】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子



借入金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。 前期の合計残高試算表の決算・全部門・貸借対照表と今期の合計残高試算表の決算・全部門・ 損益計算書を参照します。

この事例では、長期借入金及び利子割引料の補助科目として「△△資金(トラクター用)」、「XX資金(コンバイン用)」等を設定しています。

貸借対照表

勘定科目	繰	越	借方金額	貸方金額	残高	構成比((%)
【流動負債】							
買掛金					30,000		1
短期借入金							
	\approx	\approx	===	====	****	===	\bowtie
【固定負債】							
長期借入金					3,500,000		
△△資金(トラクター用)					3,000,000		
×× 資金 (コンバイン用)					500,000		

全部門

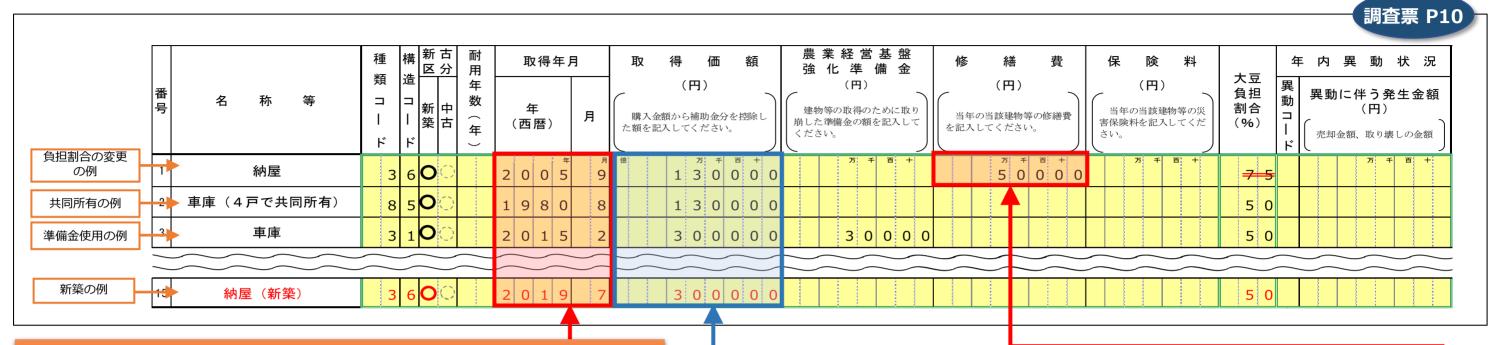
借入金(支払利子)

損益計算書 全部門

勘定科目	繰	越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
《経常損益の部》						
[営業外損益の部]						
【営業外費用】						
利子割引料					57,000	
短期借入金利子						
長期借入金利子						
△△資金(トラクター用)					40,000	
x x 資金 (コンバイン用)					15,000	

調査票 10 ページ

【7】建物及び構築物(土地改良施設を含む。)の所有状況



建物等の取得年月と取得価格(自動車、農業機械も同様)

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。 各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

				減価値	賞却資産	集計	 		
			資産名称				取得価格	普通償却額	売却価額
コード 事業区分			摘要				交付金等	割増特別償却額	売却損益
ず 来ビル 資産区分	取得年月日 償却方法 耐用年数		償却率 期間			差引取得	当期償却費計	期首帳簿価額	
	売却除去日	事業専用	数量	残存1	残存:		償却基礎金額	償却費累計	期末帳簿価額
1	納屋						130,000		
農業建物	2005/9								
_	車庫(4戸で	共同所 (1)					130,000		
2 農 業 建物	1980/8								
	倉庫						300,000		
3 農 業 建物	2015/2								
4	納屋(新築)						300,000		
4 農 業 建物	2019/7								

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。 合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、修繕費の補助科目として「建物修繕費」「車修繕費」等を設定しています。ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、かりやすいよう全て畑作で負担したと見なしています。

損益計算書 全部門

勘定科目	繰	越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
《経常損益の部》						
[営業損益の部]						
【生産原価】						
修 繕 費					170,000	
建物修繕費					50,000	
農具修繕費					50,000	
車修繕費					70,000	

調査票 11 ページ

【8】自動車(自動二輪・三輪を含む。)の所有状況

調査票 P11

		年月	取得価額	修繕費	自動車保険料	自動車・軽自動車税	当年、車検を受	をけた自動車等 エノ おさい	年内異動状況
番号名称等	類 式 年 数 年 (西暦 ドド ド)	月	(円) 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	(円) 当年の当該自動車等の 修繕費を記入してください。	(円) 当年の当該自動車 等の保険料を記入し てください。	(円) 当年の当該自動車 等の自動車税又は軽 自動車税を記入して ください。	について記入し 自動車重量税 (円)		大豆 負担 割合 (%)
中古の例 軽トラ	1 1 O 3 2 0 1	年 4 4	8 5 0 0 0	л т в + 5 0 0 0 0	カ 千 百 十 3 5 0 0 0	л т в + 4 0 0 0	万 千 百 + 2 6 5 0 0	л т в + 6 6 0 0	6 0 5 F B +
_{変更・売却の例} 2 普通乗用車	2 2 0 2 2 0 1	3 1	1 5 0 0 0 0 0	2 0 0 0 0	4 0 0 0 0	4 5 0 0 0			1 5 1 5 0 0 0 0
購入・共同所有 の例 <u>貨物トラック</u> (4戸で共同所有)	1 3 0 2 0 1	9 3	3 8 0 0 0 0 0		3 5 0 0 0 0	1 1 5 0 0			6 0

取得年月と取得価格

本マニュアルP26と同様、「減価償却資産集計表」を参照して転記してください。

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。 合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。 建物の修繕費と同じですが、合算されているので、元帳で内訳を確認します。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰	越	借方金額	貸方金額	残	高	構成比	(%)
《経常損益の部》								
[営業損益の部]								
【生産原価】								
修 繕 費					1	70,000		
建物修繕費						50,000		
農具修繕費						50,000		
車修繕費						70,000		

自動車保険料、自動車・軽自動車税、自動車重量税、自賠責保険

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。 合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、租税公課の補助科目として「<mark>自動車税」等</mark>を、損害保険料の補助科目として 「自動車保険料」を設定しています。ここでは、各項目毎に合算されているので、元帳で更 に内訳を確認します。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰	越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
【販売費一般管理費】						
租税 公課					695,190	
固定資産税・建物					38,800	
******	=	\approx	$\Rightarrow \Rightarrow$	$\approx \approx$	$\approx \approx$	$\approx \approx$
軽・自動車税					★ 65,900	
自動車重量税					26,500	
自賠責保険					6,600	
損害保険料						
自動車保険料					425,000	

★「軽・自動車税」には、次ページの農業機械の税金も含まれます。

調査票 12 ページ

【9】農業機械(生産管理機器を含む。)の所有状況

